

平成26年度 事業報告

一般社団法人 島根被害者サポートセンター

1. 相談事業

(1) 支援活動状況 月別一覧

	電話相談	面接相談	直接支援	カウンセリング	合計
4月	11	1	4	0	16
5月	8	1	0	0	9
6月	10	2	1	0	13
7月	4	0	0	0	4
8月	11	0	1	0	12
9月	8	1	0	0	9
10月	13	0	0	0	13
11月	5	0	0	0	5
12月	10	0	0	0	10
1月	11	3	1	1	16
2月	19	4	0	2	25
3月	13	3	0	2	18
合計	123	15	7	5	150

(2) 支援活動状況 内容別一覧

	電話相談	面接相談	直接支援	カウンセリング	合計
殺人・強盗	11	3	3	0	17
暴行・傷害	5	1	0	0	6
性的被害	18	2	3	0	23
DV	3	0	0	0	3
ストーカー	2	0	0	0	2
交通事故被害	19	8	1	5	33
詐欺・窃盗	1	0	0	0	1
悪質商法等	3	0	0	0	3
その他	61	1	0	0	62
合計	123	15	7	5	150

(3) 直接支援活動の状況

内 容	件数
警察関連支援	4
裁判関連支援	2
検察庁関連支援	0
行政窓口等付添	0
病院付添	0
自宅訪問	0
生活支援	0
宿泊施設提供	0
自助グループ	0
その他	1
合計	7

相談内容	件数
殺人・強盗	3
暴行・傷害	0
性的被害	3
DV	0
ストーカー	0
交通事故被害	1
詐欺・窃盗	0
悪質商法等	0
その他	0
合計	7

2. 被害者支援員養成講座及び継続研修

(1) 第7回被害者支援活動員養成講座 (新規被害者支援活動員の養成)

受講生：15名（うち新規被害者支援活動員の登録者：8名）

※平成26年度末現在 被害者支援活動員登録者数：29名

開催日	テーマ	講師
7月5日	開講式	島根被害者サポートセンター
	被害者支援の概要等	
	犯罪被害者の心理とその支援	
	こどもの虐待について	
7月12日	被害者支援について	弁護士
	警察の行う被害者支援について	島根県警察本部広報県民課
	交通事故被害者のサポート	島根県警察本部交通指導課
	DV被害者のサポート	女性相談センター
8月2日	被害者支援制度等の概要について	法テラス
	性暴力被害者のサポート	島根県警察本部捜査第一課
	ストーカー被害者のサポート	島根県警察本部少年女性対策課
	消費者トラブル事例と対策・悪質商法事例とその予防	島根県消費者センター
8月9日	検察庁の被害者支援について	松江地方検察庁
	刑事裁判と被害者支援について	松江地方裁判所
	亡くなった娘からの生命のメッセージ	交通犯罪被害者遺族
9月6日	傾聴	臨床心理士
	自分自身を知る（エゴグラム）	
	まとめ（感想文）	島根被害者サポートセンター
	閉講式	



(2) 継続研修（支援員の資質向上を目的とした部内研修）

実施日	内 容	講 師
4月19日	刑事裁判と被害者参加制度について	支援活動責任者
5月17日	少年事件の流れについて	〃
6月21日	配偶者暴力防止法（DV法）について	〃
7月12日	ストーカー規制法について	〃
8月9日	近隣トラブルについて	〃
9月20日 21日	平成26年度質の向上研修上半期 （中国・四国ブロック）	全国ネット主催 （担当：島根県）
10月18日	消費者トラブルについて	消費者センター
12月20日	法テラスの被害者支援制度の概要等について	法テラス島根
1月17日	「犯罪被害者の実情」DVD鑑賞及び討論	事務局長
2月21日	児童虐待事案について	支援活動責任者
3月21日	電話相談の実際～ロールプレイを通して	臨床心理士

(3) 新人研修（新規に任用した支援員に対する研修）

実施月日	内 容	講 師
10月18日	被害者支援の概要について	事務局長
12月20日	被害者支援活動の基本的要領について	〃
1月17日	「犯罪被害者の実情」DVD鑑賞及び討論	〃
2月21日	児童虐待事案について	支援活動責任者
3月21日	電話相談の実際～ロールプレイを通して	臨床心理士

(4) 全国被害者支援ネットワーク主催の会議・研修等への参加

支援員等の全国的な資質の向上と研修意欲の啓発及び技術開発の為の研修会

- ① 全国被害者支援ネットワーク総会（5/22 東京都 事務局長参加）
- ② 2014年度第1回中国・四国ブロック事務局長会議
（9/19 島根県 事務局長参加）
- ③ 2014年度第1回中国・四国ブロック研修会
（9/20～9/21 島根県 11名参加）
- ④ 全国犯罪被害者支援フォーラム2014（10/3 東京都 4名参加）
- ⑤ 秋期全国研修会（10/4～10/5 東京都 4名参加）
- ⑥ 2014年度第2回中国・四国ブロック事務局長会議
（1/30 岡山県 事務局長参加）
- ⑦ 2014年度第2回中国・四国ブロック研修会
（1/31～2/1 岡山県 2名参加）

(5) 各都道府県主催のフォーラム等への参加

上記以外の研修として、以下の通り参加し、支援スキルの向上を図った。

- ① 島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり大会
(10/19 島根県 松江テルサ 4名参加)
- ② 島根県被害者支援連絡協議会講演会 講師：岡本真寿美氏
(11/27 島根県 島根県民会館 7名参加)
- ③ 犯罪被害者支援 京都フォーラム 講師：安田貴彦氏
(2/7 京都府 同志社大学寒梅館ハーディーホール 2名参加)

(6) 関係機関・団体との連携による被害者支援会議等

- ・ 市町村犯罪被害者等支援施策担当者会議 (6/28 事務局長出席)
- ・ 島根県犯罪被害者支援連絡協議会総会 (11/27 事務局長出席)
- ・ 島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会総会
(2/4 事務局長出席)

3. 広報啓発活動

(1) 講演会の開催

被害者支援を考える講演会 11/15 (土)

島根県民会館 3階 大会議室

講師 大藪順子 氏

(フォトジャーナリスト 横浜在住)

演題

「立ち上がる選択

ー性暴力を許さない社会のためにー」



(2) 写真展の開催

大藪順子写真展

「STANDー性暴力サバイバー達の素顔ー」

11/15 (土) ～11/17 (月)

島根県民会館プロムナードギャラリー



(3) 街頭広報活動への参加・その他広報啓発活動の実施

- ① 11/17 犯罪被害者支援キャラバン隊によるメッセージの伝達(松江市・出雲市)
 - ② 11/25～12/1 全国犯罪被害者週間 広報啓発活動の展開 (ティッシュ配布)
- その他、関係機関イベントでのパネル展示、リーフレット・ティッシュ等配布

(4) ラッピングバスによる広報

- ① 松江市営バス（路線：松江市内循環線） 平成 21 年度より運行中
- ② 石見交通（路線：浜田～江津） 平成 23 年度より運行中

(5) 刊行物の作成

- ① 広報誌「ニューズレター」 2 回発行（6 月・1 月）
- ② リーフレット・ポケットティッシュ・チラシ等の作成配布

(6) ホームページの活用による広報活動

ホームページの定期的な更新等により、活動内容の紹介と、入会案内（申込み）等の広報実施

4. 「命の大切さを学ぶ教室」

(1) 「命の大切さを学ぶ教室」講演会の開催

被害者遺族が犯罪から受けた様々な痛みや、子どもを亡くした親の思いを話すことで、将来を担う中学・高校生等に命の大切さ、罪を犯してはならないという規範意識の向上を図ることを目的とした教室を計 15 回開催した。



実施日	学校名	講師	付添い
5月7日	益田高等学校	小森美登里 氏	2 人
5月8日	益田市立匹見中学校	小森美登里 氏	1 人
6月19日	江津市立桜江中学校	江角由利子 氏	なし
6月26日	安来市立広瀬中学校	一井 彩子 氏	3 人
7月2日	松江市立第四中学校	市原千代子 氏	2 人
7月4日	津和野町立日原中学校	山根 和子 氏	3 人
7月17日	大社高校佐田分校	江角由利子 氏	2 人
10月22日	浜田市立第一中学校	市原千代子 氏	3 人
10月23日	開星中学校	市原千代子 氏	2 人
10月29日	邇摩高等学校	江角 弘道 氏	1 人
11月25日	出雲工業高等学校	江角 弘道 氏	1 人
12月2日	出雲市立湖陵中学校	江角由利子 氏	1 人
2月9日	飯南高等学校	江角 弘道 氏	なし
2月9日	松江市立湖北中学校	江角由利子 氏	2 人
2月17日	松江商業高等学校	江角由利子 氏	1 人



7月4日（金）

津和野町立日原中学校の様子

- (2) 「命の大切さを学ぶ教室」 島根県作文コンクールへの後援
 優秀作品への賞品贈呈
 図書カード 1000 円×7 名（中学生 5 名、高校生 2 名）

最優秀賞 2 作品を全国作文コンクールに応募し、安来市内の中学生と出雲市内の高校生の 2 名が警察庁給与厚生課長賞を受賞しました。

5. 預保納付金助成事業の活用

- (1) 被害者支援体制の整備
 非常勤職員 2 名の採用による相談支援業務の強化
- (2) 人材育成事業の助成
 全国研修会、中国・四国ブロック研修会等参加
- (3) 文書等保管収納資機材の整備
 書庫、ロッカー等
- (4) 広報啓発活動の多角的展開
 新規リーフレット作成
 新聞広告掲載、ラジオスポット放送



6. ファンドレイジング活動

- (1) 支援自販機の設置
 支援自販機取扱会社（自動販売機オペレーター）の
 協力を得て、清涼飲料水の売上の一部を当センターに寄付で
 きる「支援自販機」を設置した。
 （平成 26 年度末現在 102 台設置）
- (2) 「2014 年 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」への登録
 黄色いレシート投函合計額 2,367,515 円の 1% 23,700 円
 （贈呈式 平成 27 年 4 月 19 日・平成 27 年度寄付金に計上）



7. 平成 26 年度寄付総額

一般寄付金（企業団体等）	1,489,705 円
幸せの黄色いレシート（2013 年度分）	39,300 円
支援自販機寄付金	4,797,504 円
合 計	6,326,509 円